

【概要】

1. 新規採用薬 : パルモディア XR 錠 / ホスリボン配合顆粒
外来限定採用 : ラスビック / リンヴォック
2. 供給
3. 採用変更
4. 添付文書改訂
5. 添付資料

1. 新規採用

高脂血症治療剤

パルモディア XR 錠 0.2mg 51 円/錠

【組成】 1 錠中ペマフィブラート 0.20mg

【禁忌】

- 1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2 重篤な肝障害、Child-Pugh 分類 B 又は C の肝硬変のある患者あるいは胆道閉塞のある患者
- 3 胆石のある患者[胆石形成が報告されている。]
- 4 妊婦又は妊娠している可能性のある女性[9.5 参照]
- 5 シクロスポリン、リファンピシンを投与中の患者[10.1、16.7.1 参照]

【効能効果】 高脂血症(家族性を含む)

【用法用量】 1 回 0.2mg を 1 日 1 回経口投与する。ただし、トリグリセライド又は LDL-コレステロール高値の程度により、1 回 0.4mg を 1 日 1 回まで増量できる。

経口リン酸製

ホスリボン配合顆粒 67.7 円/包

【組成】 1 包(0.48g)中に、リンとして 100mg、成分としてリン酸二水素ナトリウム一水和物 330mg 及び無水リン酸水素二ナトリウム 119mg を含有

【効能効果】 低リン血症

【用法用量】 リンとして 1 日あたり 20~40mg/kg を目安とし、数回に分割して経口投与する。以後は患者の状態に応じて適宜増減するが、上限はリンとして 1 日あたり 3,000mg とする。

②外来患者限定採用

ニューキノロン系経口抗菌剤

ラスビック錠 75mg 270.2 円/錠

【組成】 1 錠中ラスクフロキサシン塩酸塩 81.23mg (ラスクフロキサシンとして 75mg)

【効能効果】

＜適応菌種＞本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、プレボテラ属、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)

＜適応症＞

咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎

【用法用量】 通常、成人には、ラスクフロキサシンとして 1 回 75mg を 1 日 1 回経口投与する。”

ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤

リンヴォック錠 7.5mg 2,205.4 円/錠

【組成】 1 錠中ウパダシチニブ水和物 7.7mg(ウパダシチニブとして 7.5mg)

【禁忌】

重篤な感染症(敗血症等)の患者[症状が悪化するおそれがある。]

活動性結核の患者[症状が悪化するおそれがある。]

重度の肝機能障害を有する患者、好中球数が 1000/mm³ 未満の患者

リンパ球数が 500/mm³ 未満の患者、ヘモグロビン値が 8g/dL 未満の患者

妊婦又は妊娠している可能性のある女性

【効能効果】 既存治療で効果不十分な下記疾患

○関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)○乾癬性関節炎

○X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎○強直性脊椎炎

○巨細胞性動脈炎○アトピー性皮膚炎注)

○中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)

○中等症から重症の活動期クローン病の寛解導入及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)

2. 供給

●出荷調整

・水溶性プレドニン 10 mg・リンデロン注 2 mg :2025 年 11 月より出荷調整となっていたが、更新工事の複数回実施と製造上の都合により供給量確保困難なため 40%程度に供給量が減少

●販売中止

・ゾレドロン酸点滴静注 4mg/5mL「NK」

・キックリンカプセル 250 mg

●出荷再開

・バクトラミン注

3. 採用変更 ※①-③:在庫消尽次第切り替え ④:在庫消尽次第終了 ⑤:マスタ閉鎖

①内服

・ポラプレジング OD 錠 75 mg「サワイ」(14.3 円/錠) → プロマック D 錠 75(13.7 円/錠)

[院外採用]

・アトルバスタチン OD 錠 5 mg「トーワ」・5 mg「トーワ」 → OD 錠 5 mg「VTRS」へ統一

・アトルバスタチン OD 錠 10 mg「トーワ」・10 mg「トーワ」 → OD 錠 10 mg「VTRS」へ統一

・セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100 mg「TW」(41.1 円/錠) → フロモックス錠 100 mg(41.1 円/錠)

・ゾニサミド錠 100 mg EX「KO」 → ゾニサミド錠 100 mg「アメル」

・ゾニサミド OD 錠 25 mg TRE「SMPP」 → 「日医工」

・ガランタミン OD 錠 4 mg「サワイ」 → 「トーワ」

②注射

・ゲムシタピン点滴静注用 200mg「ヤクルト」 → 「タカタ」:経過措置に伴う変更、切り替え済

・ゲムシタピン点滴静注用 1g「ヤクルト」 → 「タカタ」:経過措置に伴う変更、切り替え済

・ゾレドロン酸点滴静注 4mg/5mL「NK」 → 「サンド」:販売中止に伴う変更

③外用

・白色ワセリン「ケンエー」 100g製剤 → 25g製剤

・クロマイ膣錠 100 mg(71.7 円/錠) → クロラムフェニコール膣錠 100mg「F」(71.7 円/錠):出荷停止の為

④院内採用終了（庫消尽次第採用終了）

- ・ドブタミン点滴静注液 600 mgキット「VTRS」：期限切れ破棄のため シリンジ製剤採用あり
- ・ジルチアゼム塩酸塩錠 30mg「サワイ」：期限切れ破棄のため
- ・パルモディア錠 0.1 mg：パルモディア XR 錠より切り替えのため

⑤院外採用終了 ※経過措置薬品は経過措置日にマスタ閉鎖

- ・ノボラピッド注ペンフィル
- ・エベレンゾ錠 20 mg：年間処方歴なし
- ・エベレンゾ錠 100 mg：年間処方歴なし
- ・キックリンカプセル 250 mg：2028 年 3 月 31 日経過措置に伴い採用終了

4. 添付文書改訂

ドセタキセル点滴静注 20mg/1mL,80mg/4mL「ニプロ」

5. 効能又は効果に関連する注意

< 効能共通 >

（記載省略）

< 胃癌 >

7.3 胃癌における術前・術後補助療法としてデュルバルマブ（遺伝子組換え）、フルオロウラシル、レボホリナート及びオキサリプラチンと併用する際の用法・用量は、デュルバルマブ（遺伝子組換え）の電子添文を参照すること。

5. 添付資料

医療安全情報 No.237 「誤った患者への輸血（第 3 報）」

医薬品・医療機器等安全性情報 No.431

DSU No.346